

東京新聞

夕刊

中日新聞東京本社
東京都千代田区内幸町二丁目1番4号
〒100-8505 電話 03(6910)2211

放射線



途上国の女性の歳のとき三人目を出産。丸一歳のとき三人目を出産。丸一日、自宅で陣痛に苦しんだ。健康をまもるために活動といって後、荷馬車で近くの診療所に運ばれたものの、産科専門医も、なかなかイメージできないと言われる。たとえば、フィスチュラ（産科ろう孔）という病名を、存じだらうか。出産の際、胎児の頭の圧力で産道や子宮に孔があいてしまう病気のことだ。出産そのものも危険な上にその後の女性の健康にも悪影響をもたらす。

フィスチュラ

エチオピアにはフィスチュラ治療専門の病院がある。患者のサラエさんは十五歳で結婚、相次ぎ一人の子を授かったが、ともに流産した。十八



基 金 東 京 事 務 所 長

る女性は、多くはない。

そもそもは、若年出産が原因である。エチオピアの法定結婚年齢は十八歳。しかし、現状は、十五歳までに半数は結婚しているという。女性の地位が低く、情報が不十分で、貧困のなかにあるからだ。十五歳前後のまだできあがっていない身体では、妊娠・出産に耐えられない。

のままでは排泄を調節できず、垂れ流し状態となつて社会生活ができなくなる。病院で縫合手術をする費用は約二百万人の患者がいて、大きな問題となつていいのである。（池上 清子＝国連人口三百ド。払え